

美術 振 興

1 大分市美術館

所在地 大分市大字上野865番地

電話 554-5800

FAX 554-5811



(1) 運営方針

大分市美術館は、緑豊かな上野丘子どものもり公園内に位置し、「たのしんで・みて・まなぶ美術館」として、だれもが気軽に美術を楽しめる場と機会を提供している。年間を通じて所蔵の美術品が鑑賞できるコレクション展(常設展)やさまざまな分野の優れた美術を紹介する特別展の開催、各種講座・講演会の開催など、子どもから大人までが幅広く楽しめる生涯学習施設としての美術館運営をめざしている。

また、特色ある地域の美術文化情報を広く発信するとともに、開かれた美術館として市民との協働による運営を推進する。

(2) 施設の概要

平成11年2月	開館
敷地面積	129,837㎡(公園全体)
建築面積	6,623.51㎡
延床面積	9,085.00㎡
展示室面積	2,097.81㎡
構 造	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨鉄筋コンクリート造2階建

(3) 収集方針

- ① 豊後南画をはじめ、大分市にゆかりのある作家の優れた作品
- ② 美術史的展望に立ち、近・現代を中心とした芸術的に価値のある内外の作品
- ③ 将来方向として重視される環太平洋地域の美術についての作品
- ④ 歴史的文化遺産として貴重な美術資料

(4) 利用案内

開館時間 午前10:00～午後6:00(入館は午後5:30まで)

休 館 日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

※第1月曜日は開館し、翌日の火曜日が休館(ただし、特別展会期中の火曜日は開館します。)

年末年始(12月28日～1月4日)

観覧料 コレクション展(常設展)(令和元年10月1日から改定予定)

一 般 300円(団体250円)

高・大学生 200円(団体150円)

小・中学生 無料

障がい者(身体障害者手帳等提示)全額減免

※団体は20名以上

特別展

その都度決定(コレクション展(常設展)と共通)

研 修 室 使用料 1時間 1,080円
(令和元年10月1日から改定予定)

※冷暖房期間中は4割増しとする。

■交通機関

バ ス 「JR大分駅上野の森口(南口)」乗り場から大分キャンバス「大分市美術館」行き約7分。

タ ク シ ー J R 大分駅上野の森口(南口)から約5分。

車 東九州自動車道/大分ICから約10分。



「遊星散歩(安藤 泉作)」

(5) 利用状況(平成30年度)

① 観覧者

総観覧者 (人)

区分	常設展	特別展	計
一般	34,159	67,738	101,897
高・大生	2,275	4,070	6,345
小・中生	21,289	21,443	42,732
計	57,723	93,251	150,974

特別展観覧者 (人)

展覧会名	期間	観覧者
開館20周年記念 ふるさと 大分の洋画家たち	平成30年4月13日 ～5月6日	3,857
アートになった猫たち展	5月11日 ～7月1日	10,776
明和電機 ナンセンスマシーン展 in 大分	7月7日 ～9月24日	33,320
岩合光昭写真展	10月5日 ～11月25日	9,802
第67回高文連 美術・書道・写真 中央展	12月6日 ～12月16日	1,956
芸術緑丘高等学校 70周年記念美術制作展	12月18日 ～12月23日	1,613
開館20周年記念 蜷川実花展	平成31年1月5日 ～2月24日	26,466
第53回大分市美術展	3月8日 ～3月31日	5,461
計	270日	93,251

② 研修室

利用件数	利用者数
67件	11,879人

(6) チャイルドハウス

上野丘子どものもり公園内、市美術館と隣接する場所にあり、誰でも無料で自然や芸術に触れながら絵画・粘土・工作などの体験学習ができる施設である。

- ① 施設概要 延床面積 302.27㎡
体験学習室 2室
- ② 開館時間 午前10:00～午後6:00
- ③ 休館日 月曜日(祝日の場合は開館し翌日が休館)、
年末年始(12月28日～1月4日)
- ④ 貸出 1室のみ貸出可。使用料1時間210円
※冷暖房期間中は4割増しとする。
- ⑤ 利用者数(平成30年度) 12,501人



2 令和元年度 主要な事業

大分市美術館では、幅広い世代が大分ゆかりの美術はもとより、国内外のさまざまな分野の美術を鑑賞できる機会や、創作活動に気軽に参加し作品が発表できる機会の拡大を図っている。

(1) 展覧会事業

① 特別展

展覧会名	会期・開館日数	内 容
切り絵アート展 ～息を呑む繊細美～	4月19日(金) ～6月9日(日) 48日間	切り絵専門の美術館である「富士川・切り絵の森美術館」の全面的な協力のもと、日本を代表する切り絵作家11名の独創的で魅力あふれる作品110点を紹介する。
ふるさと 大分の日本画家たち	6月15日(土) ～7月7日(日) 21日間	田近竹邨(1864～1922)から、約100年にわたる大分出身・ゆかりの日本画家たちの画業の足跡を大分市美術館・大分県立美術館・別府市美術館が所蔵する秀作の数々で紹介する。
超世代 仮面ライダー プレミアムアート展	7月17日(水) ～9月16日(月) 61日間	漫画家石ノ森章太郎の代表作のひとつ「仮面ライダー」シリーズ。本展では1971年から放送が開始された仮面ライダー1号から平成ライダーまで、40年以上にわたる仮面ライダーたちの活躍とその魅力を漫画やデザイン画、番組スチール写真、等身大立像やバイク等により紹介する。
磯崎新 展	9月27日(金) ～11月24日(日) 54日間	大分市が誇る世界的建築家・磯崎新(1931～)。建築の枠を超え、思想、美術、デザインなど多岐に渡る分野で活躍し、大きな影響を与え続けている。時代を見据え、あくなき挑戦を続ける磯崎が手掛けた数々のプロジェクトを紹介する。
第58回「福田平八郎賞」 第51回「朝倉文夫賞」 大分市小・中、特別支援 学校図画・彫塑展	12月4日(水) ～12月8日(日) 5日間	郷土出身の画家故福田平八郎先生、彫刻家故朝倉文夫先生の御遺志を長く本市教育に生かすために「福田平八郎賞」、「朝倉文夫賞」基金条例を制定し、昭和37年度から図画展、昭和44年度から彫塑展を開催。図工・美術教育の振興を図ることを目的に市内小中児童生徒の作品を紹介する。
第68回高文連 書道・写真 中央展	12月12日(木) ～12月15日(日) 4日間	大分県内高等学校(公立・私立)で学ぶ生徒たちが制作した作品(書道・写真)を紹介する展覧会。
第71回大分県立 芸術緑丘高等学校 美術制作展	12月17日(火) ～12月22日(日) 6日間	県内で唯一の美術専門コースである大分県立芸術緑丘高等学校美術科で学ぶ生徒が制作した作品を紹介する展覧会。
森のささやきが 聞こえますか 倉本聰の仕事と点描画展	令和2年1月5日(日) ～2月24日(月) 46日間	北海道富良野を拠点に、テレビドラマ「北の国から」など多くの名作を創り続けてきた脚本家・倉本聰(1935～)。多忙な仕事と向き合う一方、雄大な自然に囲まれ、日々感じ考えたことを、詩文と共に表現した精密な点描画約100点と、ドラマ創作にまつわる貴重な資料を紹介する。
第54回大分市美術展	3月6日(金) ～3月29日(日) 21日間	日本画、洋画・版画、彫刻、工芸、デザイン、書、写真の7部門の作品を公募して紹介する展覧会。

② コレクション展

展示室1～4では、コレクションを中心とした企画により、年間4回（展示室2は7回）の展示を行う。なお、第2回の展示室1～4[サマー企画]アート・ワンダーランド2019を開催し、全室共通のテーマのもとに所蔵作品を紹介する。



展示室1

展示室1 福田平八郎や高山辰雄など、近代・現代の日本画を中心に紹介する。

展示室2 近世の絵画や田能村竹田、帆足杏雨などの豊後南画等を紹介する。

展示室3 佐藤敬など、近代・現代の洋画等を紹介する。

展示室4 生野祥雲斎の竹工芸作品を中心に紹介する。

会 期	展示室1	展示室2	展示室3	展示室4
4月9日(火) ～7月7日(日)	人と物語	絵画のなかの遊び ～5月26日(日)	片多徳郎と 権藤種男	生野祥雲斎を知る
		5月28日(火)～ 神と仏のすがた		
7月9日(火) ～9月23日(月)	[サマー企画] アート・ワンダーランド2019 くらべるクエスト			
9月25日(水) ～令和2年 1月13日(月)	平成の 日本画・版画	山水画のツボ ～11月10日(日)	磯崎新とネオ・ダダ	陶芸の世界
		11月12日(火)～ 印を楽しむ		
1月15日(水) ～4月6日(月)	季節を描く 冬から春へ	富士山の絵画 ～2月24日(月)	宇治山哲平 と潮流の会	いろいろなかたち
		2月26日(水)～生誕 210年 帆足杏雨		

美術振興

(2) 各種講座・講演会

① 講演会

	講座名	期日・期間	定員	内容
1	ふるさと 大分の日本画家たち	6月15日(土), 22日(土)	各80人	大分の日本画家たちに関する講演会

② 文化・芸術講座

	講座名	期日・期間	定員	内容
2	紙のステンドグラス ～ローズウィンドウ～	5月18日(土)	15人	ローズウィンドウの制作
3	カラーサンドアート	10月26日(土)	15人	カラーサンドアート
4	フェルトアート 「ねこのカード立て」	12月7日(土)	15人	猫をモチーフにしたカード立ての制作
5	アートカレッジ	6/6,7/4,8/1,9/5, 10/3 11/7 全て(木)	各80人	美術に関する講義と展覧会解説受講

③ 子どものための講座

	講座名	期日・期間	定員	内容
6	GW美術教室 「切り絵でつくる海の世界」	4月27日(土)	40人	鑑賞と切り絵作成
7	夏の美術教室「クレヨン描きく らべワークショップ」	6月9日(日)	40人	多種のクレヨンを使ってワークショップ
8	夏の子ども講座 10回	7月13日(土), 14日(日)	各40人	ぶよぶよ水ビーズで夏パフェ屋さん
9		7月20日(土), 21日(日)	各40人	ジオラマ・テラリウム
10		7月27日(土), 28日(日)	各40人	石粉粘土でおもしろ磁石
11		8月3日(土), 4日(日)	各40人	不思議な絵の具でシールを作ろう
12		8月17日(土), 18日(日)	各40人	はりこの犬
13	ちびっこ工作ルーム 「てとてとて」	10月から3月第1金曜日	—	未就学児童と保護者対象の工作教室
14	秋の美術教室「岩絵の具って、 な～に?日本画に挑戦!」	10月12日(土)	40人	日本画体験のワークショップ
15	冬の美術教室「水引&繭玉でお 正月飾りをつくろう」	12月14日(土)	40人	正月飾り制作ワークショップ
16	美術館出前教室	9月～12月	—	学校へのアウトリーチ鑑賞教室

④ 市民との協働講座等

	講座名	期日・期間	定員	内容
17	美術館ボランティア研修講座	年6回	各100人	美術館で活動しているボランティアの研修
18	美術館ボランティア入門講座	年6回	各20人	美術館で活動する新規ボランティアの研修
19	美術館で音楽会	11/2, 11/9, 11/16, 11/23, 11/30 全て(土)	—	応募者による演奏会
20	「コレクション展案内」	毎月第2土曜日	—	ボランティアによるコレクション展案内
21	「第1月曜日は 美術館で楽しもう!」	4月～2月の第1月曜日	—	ボランティアによるワークショップ
22	出張講演	随時	—	外部の市民団体等からの依頼による講演

(3) まちなかアートフルロード推進事業

県立美術館や県立芸術文化短期大学、美術関係団体などと連携し、まちなかに回遊性を持った芸術文化ゾーンを形成し、芸術文化の振興を図るとともに、中心市街地の賑わい効果を美術館まで波及させる。

【アートフルロードプロジェクト2019】制作のひみつ
 会期 令和元年11月27日(水)
 ~12月1日(日)
 場所 アートプラザ(アートホール)

(4) 第54回大分市美術展

美術の各分野における市民の創作活動を促進し、発表と鑑賞の機会を提供することによって、多様で豊かな文化を創造する市民の育成をめざす。

会期 令和2年3月6日(金)
 ~3月29日(日)
 場所 大分市美術館

昨年度(平成30年度)実績
 会期 平成31年3月8日(金)
 ~3月31日(日)
 場所 大分市美術館
 出品数 568点



市美展

(5) 福田展・朝倉展

郷土出身の画家故福田平八郎先生、彫刻家故朝倉文夫先生の御遺志を長く本市教育に生かすために「福田平八郎賞」、「朝倉文夫賞」基金条例を制定し、昭和37年度から図画展、昭和44年度から彫塑展を開いて、市内小中児童生徒の図工・美術教育の振興を図っている。

① 福田展の記録

昭和37年5月1日~6日
 トキハ文化ホールにおいて福田平八郎画伯近作展が開かれる。

昭和38年2月6日~10日

市条例により「福田平八郎賞」大分市小・中学校図画展がはじまる。

回	期間	会場	応募作品数	入選数	入賞者数
53	平26.11.19 ~11.25	アートプラザ	40,537	3,637	460
54	平27.11.18 ~11.24	アートプラザ	40,428	3,635	454
55	平28.11.22 ~11.28	アートプラザ	40,321	3,626	455
56	平29.11.21 ~11.27	アートプラザ	40,050	3,598	455
57	平30.11.27 ~12.3	アートプラザ	39,902	3,586	454



「福田平八郎賞」図画展

② 朝倉展の記録

昭和42年10月6日~19日

大分文化会館において朝倉文夫遺作展が開かれる。

昭和44年11月6日~10日

市条例により「朝倉文夫賞」大分市小・中学校彫塑展がはじまる。

回	期間	会場	入賞者数
46	平26.11.19~11.25	アートプラザ	332
47	平27.11.18~11.24	アートプラザ	339
48	平28.11.22~11.28	アートプラザ	337
49	平29.11.21~11.27	アートプラザ	336
50	平30.11.27~12.3	アートプラザ	326



「朝倉文夫賞」彫塑展

美術振興

(6) 美術館ボランティア

美術館ボランティアは、大分市美術館の教育普及活動の諸事業に係わりながら個々の芸術・美術に関する教養を高めると共に、市民文化の発展に寄与することを目的とする。

① 活動

美術関係資料の収集整理、所蔵作品の解説、ワークショップの実施、その他展覧会諸事業への協力など。



ワークショップを行うボランティア

② 研修

大分市美術館美術振興課職員による所蔵作品関連の研修、展覧会レクチャーなど。

(7) 調査研究

① 美術作品等の調査研究

大分ゆかりの作家、日本及び諸外国の近現代芸術、歴史的文化遺産など大分市美術館の収集方針に沿った美術作品及び関連する美術作品、資料等の調査、研究を行う。

② 展示、保存に関する調査研究

特別展、コレクション展でより効果的に展示する技術、方法や所蔵作品のより安全な保管技術、方法について調査、研究を行う。

③ 教育普及活動に関する調査研究

3 アートプラザ

所在地 大分市荷揚町3番31号

電話 538-5000

FAX 538-5060



(1) 運営方針

ゆとりと豊かさあふれる生涯学習社会をめざし、新しい文化の創造と発信が積極的に行われる場として、気軽に利用できるよう市民サービスにつとめる。

また、大分市出身の世界的建築家磯崎新氏建築作品の模型や資料の展示を行い、建築理念や思想などを広く紹介する。

(2) 施設の概要

① 沿革

昭和41年(1966)5月	大分県立大分図書館(磯崎新氏設計)として竣工
昭和42年(1967)8月	日本建築学会賞受賞
昭和43年(1968)4月	日本建築年鑑賞受賞
平成6年(1994)8月	大分県立大分図書館新築移転のため閉館
平成7年(1995)4月	大分市が無償貸与を受ける
平成10年(1998)2月	アートプラザ開館
平成19年(2007)4月	指定管理者制度を導入

② 概要

敷地面積	3,023.4 m ²
建築面積	1,599.94m ²
延床面積	4,081.55m ²
構造	鉄筋コンクリート造地下1階 地上3階

(3) 指定管理者制度の導入

① 目的

民間事業者の有するノウハウを活用し、市民サービスの向上と行政コストの縮減、及び新たな雇用の創出による地域の振興を図る。

② 指定管理者

アートプラザ共同事業体

③ 指定期間

平成31年4月1日～令和6年3月31日

(4) 事業内容

本館の業務は、貸館業務と常設展示業務に分けられる。

① 貸館業務

ア 施設の用途

(ア) アートホール(2F)

芸術・文化関係団体の展覧会場として、また、各種文化講演会や催事の会場として利用できる。

(イ) ギャラリーA・B(1F)

主として個人やグループによる絵画・書・写真などの創作活動の発表の場として利用できる。

(ウ) 研修室(2F)

芸術・文化に関する会議や研修会や講座などに利用できる。

(エ) 実技室(2F)

比較的大きなプレス機を設置して各種版画ができるように準備している。その他多様な芸術活動にも対応できる。

イ 施設紹介

	面積	展示壁面	天井高	収容人員
アートホール	427㎡	116 m	5.14 m	250 人
ギャラリーA	236㎡	78 m	2.85 m	
ギャラリーB	102㎡	46 m	2.85 m	
研修室	79㎡		4.66 m	70 人
実技室	77㎡		4.66 m	20 人

・ ギャラリーA・Bを同時使用することもできる。

・ 実技室には1.8m×0.9mの作業台が6台あり、水道も設置している。

② 常設展示業務

ア 磯崎新建築模型展示業務(3F及び2F 60'sホール)

磯崎新氏が設計した建築物の精密な模型や資料などを、随時展示替えを行いながら常設展示する。

イ 現代美術作品常設展示業務(2F 60'sホール)

1960年代前半に活動した前衛芸術家グループ「ネオ・ダダ」を中心とする現代美術の所蔵作品を、随時展示替えを行いながら常設展示する。

ウ 施設紹介及び展示内容

(ア) 磯崎新建築展示室・60'sホール

展示室は、面積12㎡から111㎡の9つの部屋に分かれており、主要建築模型は60'sホールの一部も使用し展示している。



展示室3



60'sホール

美術振興

(5) 利用案内

① 開館時間

午前9時から午後10時まで（ただし3階磯崎新建築展示室は午後6時まで）

② 開館日

年末年始（12月28日～1月3日）を除く全日

③ 使用料

	4月・5月・10月・11月料金	冷暖房 期間中料金
アートホール (427㎡)	1日(9時～22時)	13,670円
	1時間	1,650円
研修室 (79㎡)	1時間	990円
実技室 (77㎡)	1時間	290円
市民ギャラリー (338㎡)	1日(9時～22時)	10,790円
	A室(236㎡)	7,560円
	B室(102㎡)	3,230円

磯崎 新 建築展示室	観 覧 無 料
---------------	---------

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

■の部分 は 冷暖房期間です。

④ 受付方法

- ・使用日の属する月6ヶ月前から、受付を行う。
ただし、文化・芸術活動以外の会議や研修などは3ヶ月前から受付を行う。
また、5日以上連続して行う展覧会については、12ヶ月前から受付を行う。
- ・受付、空き情報の問い合わせは、年末年始の休館日を除く日の午前9時から午後6時まで。
- ・電話等による仮押さえは不可。
- ・使用料は、使用許可の際に納入。

(6) 利用状況

(平成30年度)

	市民ギャラリーA	市民ギャラリーB	アートホール	実技室	研修室
利用日数	261	279	349	329	278
利用率(%)	73	78	97	92	78